

なら王わし麻呂

毎号、記事にまつわる話を長岡ゆかりのキャラクターや動物が紹介します。

今回は、和島地域のマスコットキャラクター「わし麻呂くん」。平成6年に生涯学習のマスコットとして誕生しました。平成24年に「わしま観光大使」となり、さまざまなイベントで和島地域をPRしています。



小学生向けのワークショップが盛りだくさんのミライ工長岡!ぜひ遊びに来てね。8ページ

市ホームページ: <https://www.city.nagaoka.niigata.jp/>

- ◆略字の見方
- 日=日時・期日
 - 内=内容
 - 定=定員・募集人数
 - 申=申し込み
 - 先着=先着順
 - 時=時間
 - 講=講師
 - 料=料金・参加料
 - 問=問い合わせ
 - 抽選=申し込み多数の場合は抽選
 - 場=場所・会場
 - 対=対象・資格
 - 持=持ち物

注) 画どなたでも、画特になし、画無料、画不要(直接会場へ)の場合は、記載なし

◆申し込み方法

- 電話、ファクス、Eメールの記載がある場合は、その方法で申し込み可
- 画は、市ホームページの「イベントカレンダー」「募集情報」で申し込み可

◆庁舎の表記

- アオ=アオーレ長岡
- 市セ=市民センター
- 大羽=大手通庁舎
- ミラ=ミライ工長岡
- さい=さいわいプラザ

お知らせ

NAGAOKA News

市政の最近のできごとを紹介します。



ビジネスに生成AI、広がる可能性

チャットGPTなどの生成AIの活用に先駆的に取り組もうとセミナーを開催。長岡出身で日本を代表するプログラマー・清水亮さんの講演に、IT企業で働く人や学生など約100人が熱心に聞き入りました。(9月26日)



栃尾地域の足、より便利に

栃尾地域のデマンド型乗合タクシー「景虎号」の路線に、新たに2つのルートが加わりました。学生割引や回数券を導入し、通学や通院、商店街への買い物など住民の幅広いニーズに応えます。(10月1日)

2 ほうかご国際文化部



12月9日(土)午後1時30分～3時 内ナイジェリアとスリランカ出身の留学生が英語で母国を紹介 定30人(先着) 申 11月13日(月)から14日(火)まで

World Cafe 世界の茶の間 国際交流センター「地球広場」 市セ 39・2714

今日はどこに行こう? / 市ホームページ イベントカレンダー

カレンダー形式でイベントをチェックできます。ぜひご利用ください。 ▲こちら

1 野沢菜漬けの講習会

11月23日(祝)午前10時～正午 定15人(先着) ¥300円

2 二八そば打ち

11月26日(日)、12月9日(土) 前9時30分～正午 定各10人(先着) ¥各2,000円

おぐに森林公園

11月23日(祝)午前10時～正午 定15人(先着) ¥300円

1 野沢菜漬けの講習会

11月23日(祝)午前10時～正午 定15人(先着) ¥300円

2 二八そば打ち

11月26日(日)、12月9日(土) 前9時30分～正午 定各10人(先着) ¥各2,000円

おぐに森林公園

11月23日(祝)午前10時～正午 定15人(先着) ¥300円

日米開戦から82年 鎮魂と平和の花火

12/8 金 園庶務課アオ ☎39・2203



「世界中の爆弾をすべて花火にかえよう!」を合言葉に、戦争犠牲者への鎮魂と平和への願いを込めた花火「白菊」を日米開戦の日に信濃川河川敷で打ち上げます。打ち上げ時間=午後5時 ★千秋が原ふるさとの森アトリウムで午後4時から「平和をつなぐ・トークショー」、「平和の灯」点灯、5時15分から「祈りの調べ」コンサートを開催します

1 歴博DE婚活

12月3日(日)午後0時30分～5時 場県立歴史博物館 定各10人(先着) ¥男性3,000円、女性2,000円

2 ペトナムフェス

11月18日(土)・19日(日) 午後5時～19日は午後4時まで 場アオーレ長岡 定各10人(先着) ¥2,000円

3 クリスマスオーナメント作り

12月2日(土)午前9時30分～11時30分 定10人(先着) ¥2,000円



35年の絆!フォートワースから訪問団

姉妹都市締結から35周年を記念し、米国フォートワース市の訪問団27人が長岡を訪れました。撰田屋の見学や米百俵まつりへの参加などで交流を深め、今後も続く友好を確認しました。(10月5日～8日)



学生の挑戦でまちなかを元気に

若者にまちなかの魅力を知ってもらおうと、4大学1高専の学生を中心としたグループが、「まちなかぶんかさい」を企画。企業なども協力し、トークイベントやマルシェなどでまちなかを盛り上げました。(10月7日)



給食でおいしく発酵を学ぶ

発酵のまち長岡をPRしようと、市内の小・中学校で発酵食品を使った給食を提供しました。子どもたちは、栄養教諭がみそ蔵やしょうゆ蔵を取材して作った動画も視聴。おいしく発酵を学びました。(10月18日)



中越大震災から19年

山古志地域では、住民団体が中心となり中越大震災の追悼式典を開催。インターネット上の仮想空間から「デジタル村民」が参加するなど多くの関係者が集い、これまでの支援やつながりに感謝しました。(10月23日)



▲実行委員のみなさん